

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまはろ与野			
○保護者評価実施期間	令和7年10月31日 ～ 令和7年11月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日 ～ 令和7年12月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情報発信と個別支援による安心感の提供	写真付きブログや面談を通じて日々の様子を丁寧に共有するとともに、必要に応じて個別取り出しを行い、利用者の発達段階や特性に合わせたきめ細かな支援を実施している。	個別支援のねらいや成果をより分かりやすく保護者へ伝え、家庭での関わりにもつながる情報共有を継続していく。
2	利用者のレベルに応じた柔軟な支援体制	集団活動だけでなく、個別取り出し支援を取り入れることで、一人ひとりの理解度やペースに合わせた関わりを行い、無理なく成功体験を積めるよう支援している。	支援内容や関わり方を職員間で共有し、利用者の成長にに応じて支援方法を見直すなど、より質の高い個別支援を目指していく。
3	子ども・保護者双方に寄り添う丁寧な対応	当日の急な要望にも可能な限り対応し、子どもだけでなく保護者の気持ちにも寄り添った関わりを心がけています。日々の丁寧な連絡や面談を通して、安心して相談できる関係づくりを行っています。	保護者とのコミュニケーションを今後も大切にし、相談しやすい雰囲気づくりを継続します。保護者の声を支援内容や運営改善に活かし、信頼され続ける事業所を目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全管理・情報共有体制のさらなる整理と統一	送迎時の安全管理や保護者との連絡対応については、日常的に配慮しながら運用してきましたが、より分かりやすく、誰が対応しても同じ水準を保てる体制づくりが重要だと考えています。業務の積み重ねの中で、確認方法や情報共有の形を改めて整理する段階に来ていると捉えています。	送迎時の確認手順や見守りのポイントを整理し、職員間で共有を行います。また、電話・LINEなど連絡手段についても案内方法を統一し、記録を活用した情報共有を進めていきます。日々の振り返りを通じて、安心感のある運営体制をより一層整えていきます。
2	新人育成を軸とした支援水準の統一	職員一人ひとりが現場経験を重ねながら支援の質を高めてきました。今後さらに安定した支援を提供していくため、新人職員にも事業所として大切にしている支援の考え方や対応の視点を、より丁寧に共有していくことが重要だと考えています。	新人職員を含め、支援の基本となる考え方や対応のポイントを整理し、OJTや定期的な振り返りを通じて共有します。職員の経験や工夫を事業所全体で活かし、支援の質を一定に保てる教育体制を構築していきます。
3			